

アグリ ワーク ポイント AGRI WORK POINT



いよいよ一番茶期を迎えます

茶指導販売課 菊川 響



年間月別平均気温の推移と管理

4月はいよいよ一番茶期を迎え、早いところでは月末頃から摘採作業が始まっていきます。この時期は気象状況が不安定で、急な気温の変化による被害などに注意が必要です。一番茶の収量・品質を確保するために、摘採直前まで徹底した管理を行いましょう。

近年、温暖化や干ばつなどの異常気象が問題となっています。管内でも影響を受けており、気候の変動が見られるため、本年度も気象状況を参考に管理を行う必要があります。令和5年から過去4年を比較すると、令和5年は年間を通して平均気温が上昇しており、夏期の上昇は著しく、越冬～春期にあたる2～4月の気温も上昇傾向にあります。4月の平均気温は過去4年間で約2℃ほど上昇しているため、今後も気温の上昇に注意が必要です。

また、温暖化により芽の生育が早まることが予想されます。今月の管理については、摘採期を見逃さないようこまめに気象状況を確認しつつ、急な低温による新芽の被害にも注意してください。

病害虫の防除

〔4月中～下旬〕

①カンザワハダニ

気温が上昇すると発生しやすく、葉裏に生息し、吸汁加害を引き起こします。今年度管内で行った生育密度調査では、例年よりも発生が多く見られました。多発生後は農薬の効果落ちるため、早期防除を行うことが大切です。

②コミカンアブラムシ

新芽に寄生し、吸汁加害を引き起こします。摘採期が近いいため、各地区の防除規制などに従って適正防除を心掛けてください。